



2023-24 年度 ゴードン R. マッキナリー RI 会長の会長テーマは、“CREATE HOPE in the WORLD”で、「世界に希望を生み出そう」と訳されています。

彼は、現代社会に於けるウクライナ侵攻を念頭に、破壊的な紛争から世界が希望を取り戻すことを我々の目的にして行動すれば、それが我々に持続可能な変化を齎すことになると考え、また、タイでの

津波被災地で、ロータリーが希望を与えた経験から、ロータリーが世界に希望を生み出し、変化を創り出していると考えました。

そして、世界に希望を生み出す重要な方法は、平和の推進とロータリー活動（DEI やポリオ撲滅等）の「継続」であり、これがコロナ禍でメンタルの問題に直面している世界の人々に希望を与えると述べ、そして、ロータリー活動の継続と革新の理想的バランスこそが平和で希望のある世界を築く手助けができると唱えています。

RI 会長が指摘する様に、現代の世界は、気候変動や CO2 の影響に加え、米中対立やウクライナ侵攻及び COVID19 の影響で「分断」が進行し、これに伴う貧富の格差拡大や平和と民主主義の危機が深刻化しており、一方、国内に於いて、少子高齢化や経済や地方の衰退が深刻の度を強めています。そして、当クラブに於いても会員減少を始め、それに伴うクラブ運営の危機が顕在化しているところですが、この様な状況下に於いても、トルコ・シリアの大地震やウクライナ侵攻に伴う救援活動を目の当たりにすれば、世界的な利他の「つながり」の存在を感じますが、この確かな心の「つながり」こそが「希望を生み出す」源であることを見て来ました。私はこの様な時代にあって、「《つながり》を深める」という言葉を 2023-24 年度の会長テーマとして掲げ、人と人との「つながり」を深めることで、奉仕が始まり、ロータリーが地域で、クラブで、そして、夫々の職場や家庭に於いて「希望」を創造することに貢献していきたいと考えます。ローマの五賢帝の一人であるマルクス・アウレリウス・アントニウスはその著「自省録」の中で「宇宙のすべてはつながっている」と述べていますが、「つながり」という言葉の英訳を考えると、connect, unite, continue, combine, chain, bond など実に様々な意味があります。私の考える「つながり」とは、世界や日本のあらゆる地域との「つながり（＝交流）」、過去と現在と未来の歴史を超えた「つながり（＝絆）」、社会の分断や貧富を超えた「つながり（＝包摂、共助）」、性別や人種、年齢などの多様性を超えた「つながり（＝平等・多様性）」を意味しますが、ロータリアンがこれらの「つながり」を深めることにより、利他の心を学び、持続可能な平和と希望を生み出すことに努めたいと考えます。

その為には、ロータリアンが常にロータリーの本義を忘れず、例会に於いてメンバーとの親睦を通じて研鑽され、そして、「寛容のこころ」を学ぶことにより新しい困難な課題に果敢に挑戦することが肝要と考えます。

今年度は、この様にロータリーの危機や展望を意識しながらも、我々の「つながり」を深めることで、会員の皆様に親睦と慈愛と忠恕に満ちたロータリーライフを提供し、この伝統ある龍野クラブの未来への「つながり」の一助となれば幸いと考えます。

この様な思いを念頭に理事・役員をはじめ会員の皆様には次のことを期待致します。

①SAA には、親睦に満ちた雰囲気作りと同時に SAA の本義に基づき、厳格で品位と秩序が保たれた例会の管理運営をお願いします。

②クラブ奉仕委員会は、幹事と協力して例会の管理運営をお願いします。また、諸規定の見直し、危機管理、長期ビジョンの策定などのクラブの課題に取り組み、クラブの活性化をお願いします。

③例会担当委員会は、例会を親睦と修練の場と考え、会員が心身共に更に成長して頂くことを目的に出席率の向上と魅力ある例会プログラムの管理運営をお願いします。

④会員増強委員会は、当年度より情報委員会と正式に一体運営となりますが、会員増強をクラブ最大の課題と認識し、他の委員会と協力しながら候補者への積極的アプローチをお願いします。

また、会員に対して「人づくり」に資する情報の提供や自己啓発の為の研修の企画運営をお願いします。

- ・新会員に対してはロータリーを包括的に理解できるような新人教育を実施してください。
- ・より多くの会員がRLI（ロータリーリーダーシップ研究会に参加して頂くように勧めてください。
- ・ロータリー関係資料の保管・整理に努めてください。

⑤親睦委員会には、「親睦こそ我がクラブ」というモットーに沿い、会員同志が親交を深め、親睦がより深められるような行事の企画運営をお願いします。

⑥広報委員会には、公共イメージを念頭に、週報の発行とHPの管理運営をお願いします。対外事業の実施に当たっては、行政広報やメディアの活用も検討してください。

⑦職業奉仕委員会はロータリーの「奉仕の理想」に沿った事業の企画運営をお願いします。

⑧社会奉仕委員会は、当期から国際奉仕と一体運営となりますが、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕に於いてロータリーの「奉仕の理想」に沿った事業の企画運営をお願いします。

・次年度に向け、地区補助金プロジェクトの活用した事業を、会長エレクトと協力して検討してください。

（※本年度は地区の奉仕プロジェクト特別会計支援金を活用して、前年度に続きDEI理念の普及と共生社会の推進を目的に10月22日に「しそう自立の家」でのクラシック・コンサートの開催をお願いします）

- ・国際奉仕プロジェクトに関しては、他クラブと協力して事業展開をお願いします。

⑨財団委員会には、ロータリー財団並びに米山記念奨学会への理解が深まるような事業の企画運営をお願いします。

⑩戦略計画委員会には、クラブの課題への対処や中長期計画の策定を討議し、クラブのより良き方向を展望できるように努めて下さい。

⑪65周年委員会には、当年度がメモリアルな年となるように創立記念事業の企画運営と記念誌の発刊をお願いします。

以上、会員の皆様には大変お世話になりますが宜しくお願い致します。

当年度、地区の安行英文ガバナーの行動指針は今年度“Act with Integrity, Service with Love, Work for Peace”（真心の行動、慈愛の奉仕、平和に貢献）です。私も今年度この行動方針に沿い龍野クラブが、一層魅力あるものになる様に一年間、努めたいと考えます。

会員の皆様に於かれましても、心の「つながり」を深める一年間となります様に祈念致しますとともに、衷心よりご協力の程お願い申し上げます。